

旭川らしさ。



north latitude 43°



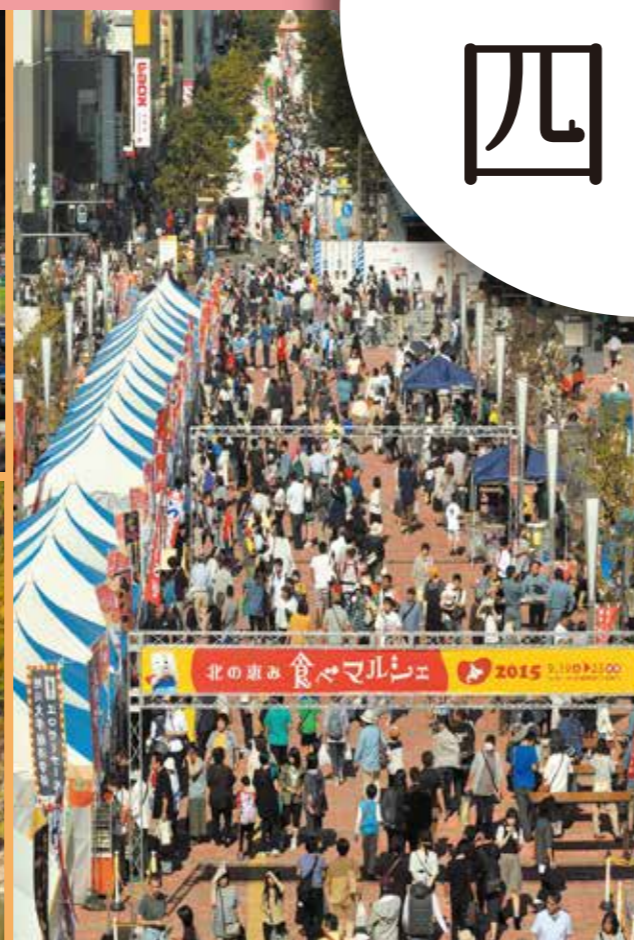
春
4~6月

雪が溶け、一斉に新芽が息吹き、花が咲き誇る春。梅雨も無く、とても爽やかな季節です。地場の美味しいアスパラガスや葉物野菜、ウドやタラの芽などの山菜が店頭には並び始めます。

旭川 四季

最高気温が30℃を超える日もありますが、夜は涼しく快適に過ごせます。サイクリングロードやキャンプ場などアウトドアフィールドが近く、本格スポーツも手軽に楽しむことができます。

夏
7~8月



秋
9~11月

収穫の秋。延べ100万人の来場を誇る「北の恵み 食べマルシェ」では北北海道のおいしい味覚をまるごと堪能できます。また、激流と急峻な渓谷が続く神居古潭（アイヌ語で「神の住む場所」）の紅葉は息を飲むほどの美しさです。

一面が銀世界となる冬。まちなかでは、スケートや歩くスキーを楽しむことができ、冬まつり期間は、無数に並ぶ氷彫刻が幻想的な雰囲気醸し出します。近郊のスキー場では、究極のドライパウダーを味わうことができます。

冬
12~3月



旭川の暮らし

自然と都市機能の融合

北海道のほぼ中央、雄大な大雪山連峰や十勝岳連峰の麓に位置する旭川市は、秋にはサケが遡上する忠別川をはじめ多くの川が流れ、明瞭な四季が織りなす豊かな自然に恵まれています。

また、人口約34万人の北海道第2の都市として、商工業のほか、医療、福祉、教育など充実した都市機能が整っています。

Photo: 北彩都ガーデン

四季を通じて快適な北国の住宅構造

旭川の住宅は、高性能の窓や断熱材を用いるとともに、隙間を極力減らす高断熱・高气密化の構造により、夏は暑くなりづらく、冬は少ない暖房エネルギーでとても暖かい、年中快適なつくりになっています。

万全な除雪体制



ひと冬に累計で6mもの降雪がありますが、夜中に除雪車が出動し、朝の通勤通学の時間までにはきれいに除雪されています。敷地内は「スノーダンプ」と呼ばれる大きなショベルやスコップを使って雪をかきします。融雪施設設置の補助制度や、ボランティアが高齢者の代わりに除雪を行う制度もあります。

Photo: スノーダンプ

自然災害の少なさ

旭川は盆地状の地形にあるため台風などの風の影響も受けにくく、大きな河川などは長年の治水整備により昭和56年以降、洪水による大きな被害にあっていません。(旭川河川事務所より)また、地震発生率は全国一低く、旭川では過去30年で起きた震度2以上の地震は24回と少なく、そのうち震度3は3回、震度4を記録した地震は1度しかありません。(気象庁地震データベースより)

旭川市内のハザードマップはコチラ▶



旭川市基本データ

- 総人口/343,539人 (2016年9月1日現在)
- 面積/747.66km² (2016年9月1日現在)
- 最高気温/31.1°C (2015年度) (過去最高気温: 36°C/1989年)
- 最低気温/-22°C (2015年度) (過去最低気温: -41°C/1902年)
- 年間降水量/1042.0mm (1981年から2010年までの30年間の平均値)
- 旭川空港就航率/99.1% (2016年8月現在)



東京都→長野県から移住(移住歴6年)

Hさん 旭川市シンボルキャラクター **あさひ**

移住者のHさん気がついたら旭川の魅力を発信する立場に!



大好きな旭川の活性化のために毎日頑張っています!! 気球体験ができたプロジェクトを立ち上げました。

Q. 移住前後で、「はたらく」ことで大きく変わったことはありますか?

A. 東京と比べると、通勤時間も短縮でき、ストレスがなく、有意義な余暇もつくれることです。

Q. 「暮らし」というキーワードで旭川市に住んでよかったことは?

A. 家族と仕事のことを考えると、住宅を買うという選択肢が増えました。広い庭でBBQも現実的。

Q. 休日に楽しんでいることはなんですか?

A. 市民の方には馴染みがないかもしれませんが、意外と果樹園が多く、子どもとよく食べ過ぎます(笑)。

Q. あなたのお気に入りの場所はどこですか?

A. 旭山動物園。年間パスポートを利用しています。動物の行動展示はもちろん、桜や季節の植物も見応えがあります。



宮城県から移住(移住歴6年)

Nさん

移住する前より、子どもと過ごす時間がより愛おしくなったNさん



夫婦二人、買物公園でチーズ屋さんをやっています。子どももパパのお仕事のお手伝い。

Q. 移住前後で、子育て面で大きく変わったことはなんですか?

A. まわりの方々と交流が多く、安心できるコミュニティの中で、子育てができています。

Q. 旭川の教育面で嬉しいことはありますか?

A. 食に携わる仕事をしているので、給食で地産地消を推奨しているのは子どものためにも嬉しいです。

Q. 休日に楽しんでいることはなんですか?

A. 子どもとおもいっきり遊んでいます。まちなかでもたくさんの公園があって、遊ぶところには困りません。

Q. あなたのお気に入りの場所はどこですか?

A. 7条緑道界隈は、個人の方のお店も多く、緑と人のあたたかみがある心地よい雰囲気です。

子育て・教育

妊娠から出産・子育てをサポートする、「子育てガイドブック」や子どもと楽しめるスポット満載のホームページ「あさひかわこどもーる」など子育てに役立つ情報を発信しています。また、子どもの病気時や緊急の際は、地域の方が子どもを預かる制度もあります。

市内には、29の幼稚園、55の小学校、28の中学校、15の高校のほか、高等教育機関として、旭川医科大学、北海道教育大学旭川校、旭川大学、旭川工業高等専門学校が設置されています。(平成28年4月1日現在)

また、恵まれた自然環境を活かし、子ども達の豊かな心とたくましい身体を育てるため、通常の通学区域に関係なく就学できる「特認校」として小学校2校、中学校1校を指定しています。

全国的に有名な旭山動物園では、「伝えるのは生命の輝き」というテーマのもと、学校とも連携しながら地球環境保全、野生動物共生のための教育活動もしています。



Photo: 旭山動物園

子育てに関する相談は

子ども総合相談センター

子どもの発達や子育て、学校生活に関することについて、子ども本人や保護者のほか、子ども・子育てに関わる方からのご相談を一括して受けています。



旭川の小学校での特徴的な取組

Point 1

きめ細かな指導の充実を図るため、小学校1・2年生は30人以下の学級編制

Point 2

読書活動や学校図書館活動を推進するため、学校司書の全校配置

Point 3

学校給食メニューは地産地消を推進

カムイの杜公園

■ 駅から車で約15分



川遊びや虫採り、アスレチックから本格キャンプまで親子で思う存分楽しめます。

もりもりパーク

■ 駅から徒歩5分



室内なので雨や雪の日でも快適に安心して遊ぶことができます。

子育てガイドブックはコチラから▶

旭川で働く

旭川は農業や建設業・製造業など様々な産業が発展しているほか、北海道のほぼ中央に位置し、流通の拠点ともなっているため、関連する仕事幅広くあります。また、医療・福祉施設も多く、専門的な知識を活かせる仕事や、コールセンターなどの仕事も充実しています。



Photo:旭川家具

はたらくあさひかわ

旭川のしごと情報提供サイト「はたらくあさひかわ」では、移住を希望する方などに向けて魅力的な「しごと」や「ひと」を紹介し、求人情報を提供しています。

Facebookも
やってます!

はたらく
あさひかわHP▶



旭川市融資制度

事業者向けに中小企業振興資金融資制度を設け、創業予定者を含む中小企業者等への融資あっせんを行っています。

お気軽に
ご相談ください

旭川市
融資制度HP▶



新鮮で美味しい食べ物

旭川は水と肥沃な土壌、気象条件に恵まれた道内有数の米の産地であり、その他野菜、花、果樹及び畜産物など多種多様な農産物を生産し、日本の「食糧基地・北海道」を支える重要な役割を果たしています。また、安心・安全のためにクリーン農業に力をいれています。



日本海、太平洋そしてオホーツク海からほぼ等距離にある旭川は、道内における物流の拠点となっており、いつでも新鮮な魚介類を手に入れることができます。

川のまち

旭川は忠別川、石狩川、美瑛川、牛朱別川という4つの大きな川があります。川沿いにはサイクリングロードが整備され、雄大な大雪山連峰や十勝岳連峰を眺めながら、長距離ランやサイクリングが楽しめることも大きな魅力の一つです。

Photo:旭橋



大阪から移住(移住歴8年)
Nさん

全国各地を知る
Nさんも旭川に
魅力を感じ移住!



仕事でも
プライベートでも
利用する旭川
空港。
中心部から車
で40分と近くで
便利です。

Q. 移住されてから生活面で大きく変わったことはなんですか?

A. 首都圏でも新鮮なものは手に入りますが、旭川では身近なところで購入でき、価格も魅力です。

Q. 休日に楽しんでいることはなんですか?

A. 坂道も少ないのでサイクリングや、河川敷でのパークゴルフを通じて自然を満喫しています。

Q. 移住前後で「はたらく」ことで大きく変わったことはなんですか?

A. 仕事中でも、日常のなかに景色はもちろん四季も感じることができます。

Q. あなたのお気に入りの場所はどこですか?

A. 市内中心部からでもすぐ行けるスキー場。近さと雪の質が最高です。



東京都から移住(移住歴10年)

Nさん

退職後移住してきたNさんは旭川の暮らしを満喫!



趣味の登山を楽しみながら毎日をゆったり過ごしています。趣味が高じて写真展を開いています。

Q. 旭川に移住後感じた、旭川の魅力はなんですか?

A. 冬の寒さ・雪に不安はありましたが、家の中は東京で過ごす冬より暖かいです。

Q. 余暇に楽しんでいることはなんですか?

A. 北海道の中心という立地から、全道各方面にカメラ片手に駆け回っています。

Q. 「医療」というキーワードで旭川に住んで良かったことは?

A. かかりつけ病院も近くにあり、いざとなっても総合病院もバス1本で通えることは安心です。

Q. 移住してから「家族」とのつながりは変わりましたか?

A. 空港も近いので、東京にいる息子家族も良く遊びにきてくれて、孫の顔を見るのが嬉しいです。

将来にわたり安心

道内トップクラスの医療体制

人口10万人あたりの医師数は、全国平均245人に対し369人(平成26年12月31日現在)で、旭川医科大学病院や旭川赤十字病院、市立旭川病院などの総合病院をはじめ、歯科診療所、助産所合わせて合計466の医療機関があります。(平成28年4月1日現在)

旭川は、一次から三次までの救急医療体制が整備されており、夜間や休日等に急病になった際でも、症状に応じた適切な医療を受けることができます。

また、いつまでも元気で若々しくいられるよう、健康・生きがいづくりを図るコミュニティ施設も身近にあり、病気の予防にもつながっています。



旭川の生活はこんなに違う!?

| 比較 | 東京都ほか | 北海道(旭川市) |
|---------------------|-------------------------------------|-----------|
| 土地平均価格(公示地価) | 524,100円/㎡ ※東京23区 231,600円/㎡ ※大阪市 | 20,200円/㎡ |
| 1世帯(2人以上)の1ヶ月平均支出額 | 326,421円 ※東京23区 | 250,175円 |
| タクシー初乗り料金 | 730円 ※東京都 中型車 | 570円 ※小型車 |
| 今後30年間の震度6弱以上の地震発生率 | 47.0% ※東京都 | 0.38% |
| 平均通勤時間 | 66分 ※東京都 | 21分 |

憧れのマイホームも夢じゃない!

安心して暮らせる街!

満員電車のストレスもありません!

旭川の暮らしを体験してから検討したい方へ

移住体験住宅

1週間程度の短期滞在から3年の長期滞在まで、本市での移住生活を体験していただくため、賃貸型の菜園付き住宅を3棟設置しております。

Youtピアカワムラ

旭川市豊岡4条3丁目

■受付時間 9:00～17:00

フリーダイヤル

0120-411-296



自然の中でゆったりと暮らしたい方へ

優良田園住宅

旭川市には、「ファームヒルズ嵐山」(江丹別町嵐山)と「東桜岡優良田園住宅」(東旭川町東桜岡)の2カ所の優良田園住宅分譲地があります。市中心部まで30分程度の距離にありながら、自然に囲まれた最大1,000㎡のゆったりとした敷地で趣味や菜園などスローライフに浸ってみませんか。また、ファームヒルズ嵐山については、「旭川市山村定住促進補助金」制度を使うことができます。

旭川市地域振興部地域振興課内

旭川市6条通10丁目第三庁舎3階

■受付時間 8:45～17:15 ☎0166-25-5316

土地や住宅の購入を考えている方へ

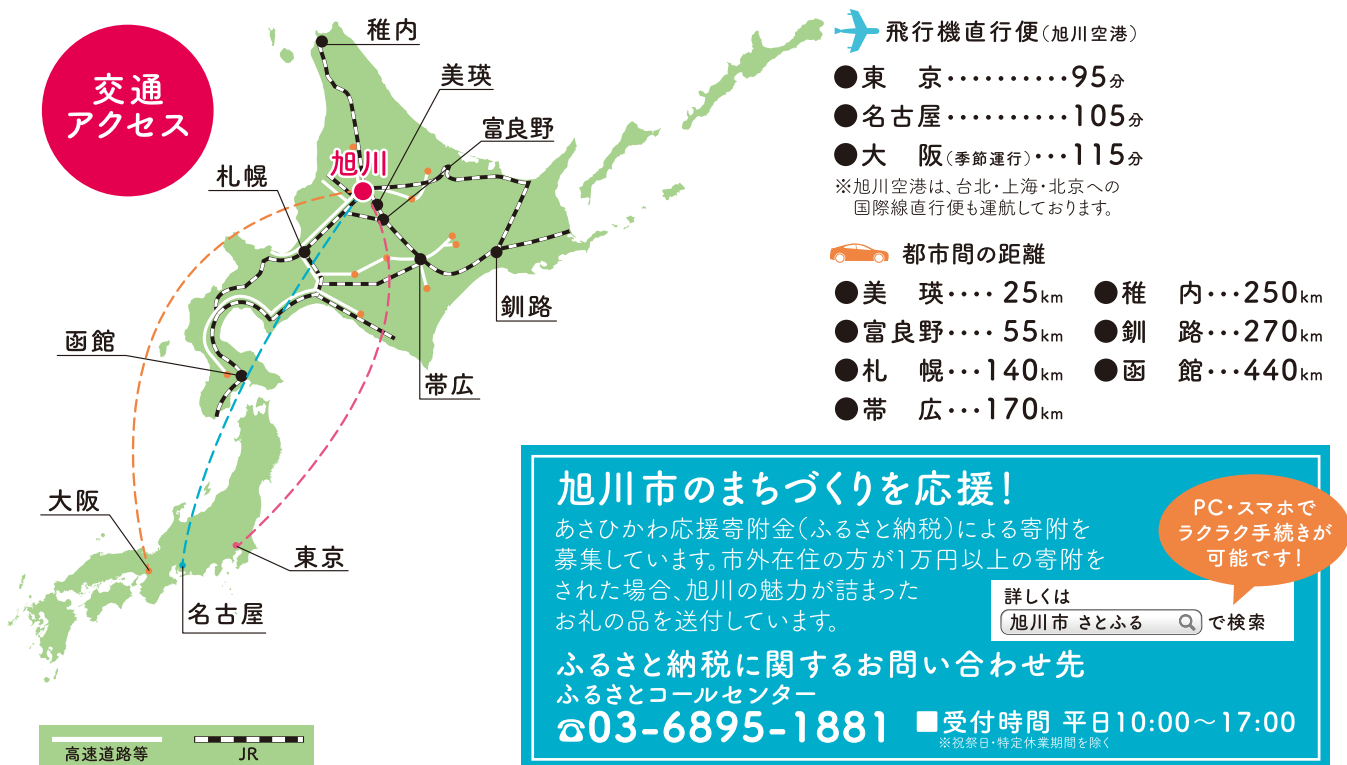
旭川市山村定住促進補助金

振興山村地域に指定されている江丹別地域は、山間地特有の森林や農村景観が残され、牧場やそば畑が美しい自然豊かな地域です。この地域に土地や住宅を購入する方に対し、購入費の一部を補助しており、加えて、市内業者を通じて家を購入・新築する場合には更に住宅購入費の一部を補助しております。

旭川市地域振興部地域振興課内

旭川市6条通10丁目第三庁舎3階

■受付時間 8:45～17:15 ☎0166-25-5316



旭川市移住ワンストップ窓口

旭川市地域振興部地域振興課

〒070-8525 北海道旭川市6条通10丁目 旭川市第三庁舎3階

電話:0166-25-5316 FAX:0166-27-3466 <受付時間8:45～17:15>

E-mail:chiikishinko@city.asahikawa.hokkaido.jp

※土日祝日及び12月30日から1月4日までを除く

URL

<http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/1200/p005623.html>

